

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
神流町	①学校運営上の課題	01 教職員の時間外勤務の是正	年間で95%強の町内小中学校教員が、時間外勤務付き45時間以下となっており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題。特に下校バスまでの放課後の時間の見守りを減らしたい。	・週に1度、放課後の活動を英語レッスンとし、外部委託する。 ・学習支援員を配置し、上記活動中、子どもたちの活動を支援する。	子どもたちだけのためだけでなく、先生方の業務負担軽減についても、学習支援員の活躍が期待されていることを周知し、活動の開始と終了の際に先生方の時間を取られることが無いよう、事前事後の準備、打ち合わせを密にする。	地域人材が子どもたちの活動を見守ることにより、放課後の時間に対応する教職員の業務負担が軽減する。	時間外勤務、月45時間以下の職員の割合	97	%	100	100	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。目標値に達成し、成果が得られた。学習支援員同士の事前事後の準備・打ち合わせにより、大きなトラブルもなく、児童生徒の活動につなげることができた。また、教職員が自身の時間を確保する環境も作ることができた。ただし、実績値100%とあるが、これは年間の時間外勤務の平均値を基にして算出しており、実際には、年間につき4割の月で時間外勤務45時間超の職員が数名いる。各月で時間外勤務が45時間以下となるように、更なる方策等が必要といえる。